

Jヴィレッジ非常時マニュアル

【怪 我】 ■軽傷（救急車不要）の場合：各自で病院へ搬送

■重症（救急車必要）の場合：

①現場からお客様が直接119番通報（救急）

（例）「救急です。Jヴィレッジの〇番ピッチ（フィールドマップ参照）で
～〇〇の状態～ です。患者の情報は〇〇です。」

②救急の指示に従う。

③Jヴィレッジ（0240-26-0111）へ報告

【報告内容】 1, 傷病者の所在地

2, 状況・容態

3, お名前

4, 年齢

5, 付添いの有無

■AEDが必要な場合：別紙設置場所をご確認ください。

【熱中症】 暑熱対策・水分補給をしっかりとしましょう。

https://www.jfa.jp/medical/heat_measures_hydration.html#tabBox



【脳震盪】 脳震盪の疑い、症状があったらすぐに救急車を呼んでください。

<https://www.jfa.jp/medical/concussion.html>



【医療機関】

| 機関名 | 休診日 | 診療科目 | 電話番号 | 所要時間 (Jヴィレッジから) | サイト |
|-----------------------|-------------|--------------|--------------|--------------------|-----|
| JFAメディカルセンター整形外科クリニック | 火曜・水曜 | 整形外科 | 0240-25-1557 | Jヴィレッジ隣接 | |
| ふたば医療センター附属病院 | 無休 | 救急科 内科 | 0240-23-5090 | 車20分 | |
| いわき医療センター | 土曜・日曜 祝日 | 内科 整形外科 他 | 0246-26-3151 | 車40分 | |
| 馬場医院 | 日曜 | 内科 整形外科 他 | 0240-27-2231 | 車10分 | |

※詳しくはフロントへお尋ねください

Jヴィレッジ非常時マニュアル

【地震】あらかじめ、以下の避難経路をご確認ください。

■ピッチ内

- 《震度4以下》 大会主催者、チーム責任者の判断でプレーを中断してください。
- 《震度5弱以上、緊急地震速報発令》
即プレーを中断し、ピッチ中央にお集まりください。

■館内

- ・ レストラン、ホール使用中のお客さまは、従業員の指示があったら整列して避難してください。
- ・ 建物は十分な耐震性があります。客室フロアにいる場合は、余震に備え、揺れが収まった後、客室扉を開放のうえ避難経路を確認してください。
慌てて避難せず従業員から指示があるまでは、部屋で待機してください。
- ・ 従業員から避難指示があった場合は、一時避難場所に避難してください。
(晴天時：6番ピッチ 雨天時：雨天練習場)

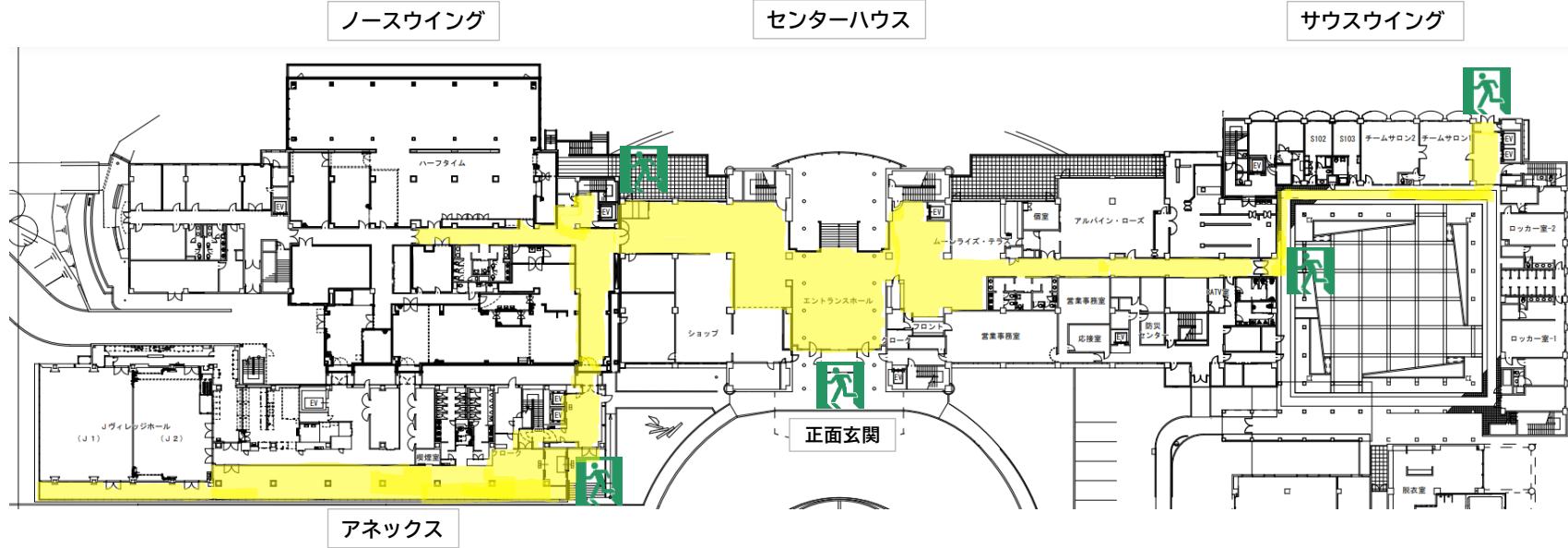


【津波】 Jヴィレッジは海拔40mに位置しています。落ち着いて避難してください。

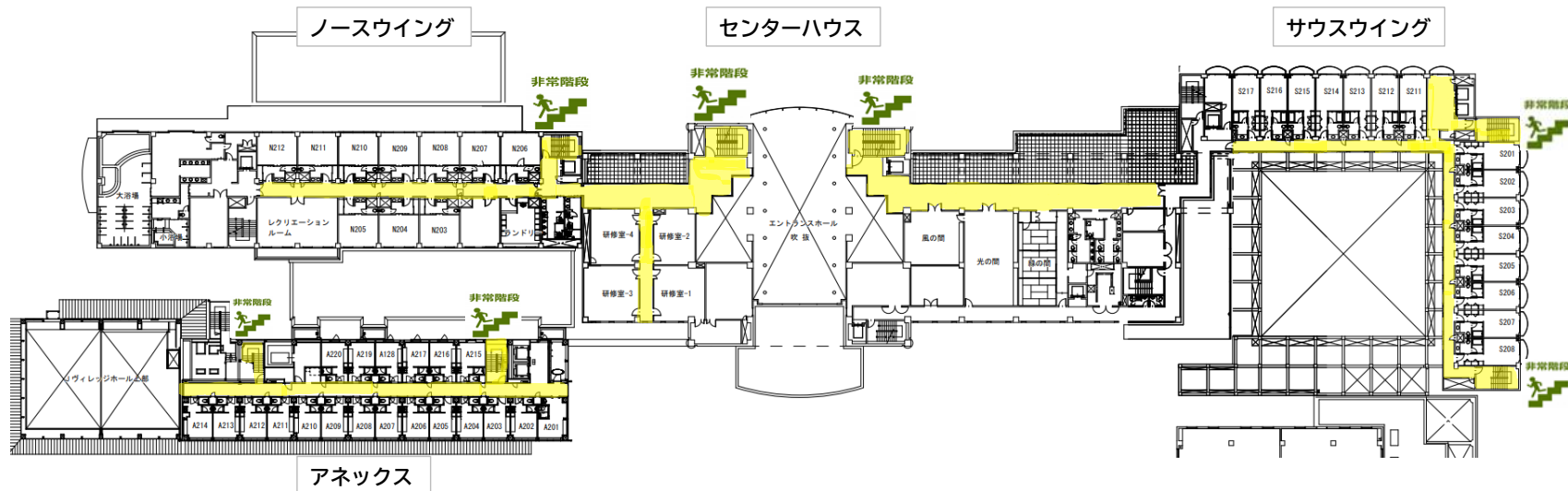
【落雷・強風】

- ・ 屋根がない場所から建物内へ避難してください。
- ・ テントや看板が飛散する場合があります。強風と感じたら、速やかにテントをたたんでください。

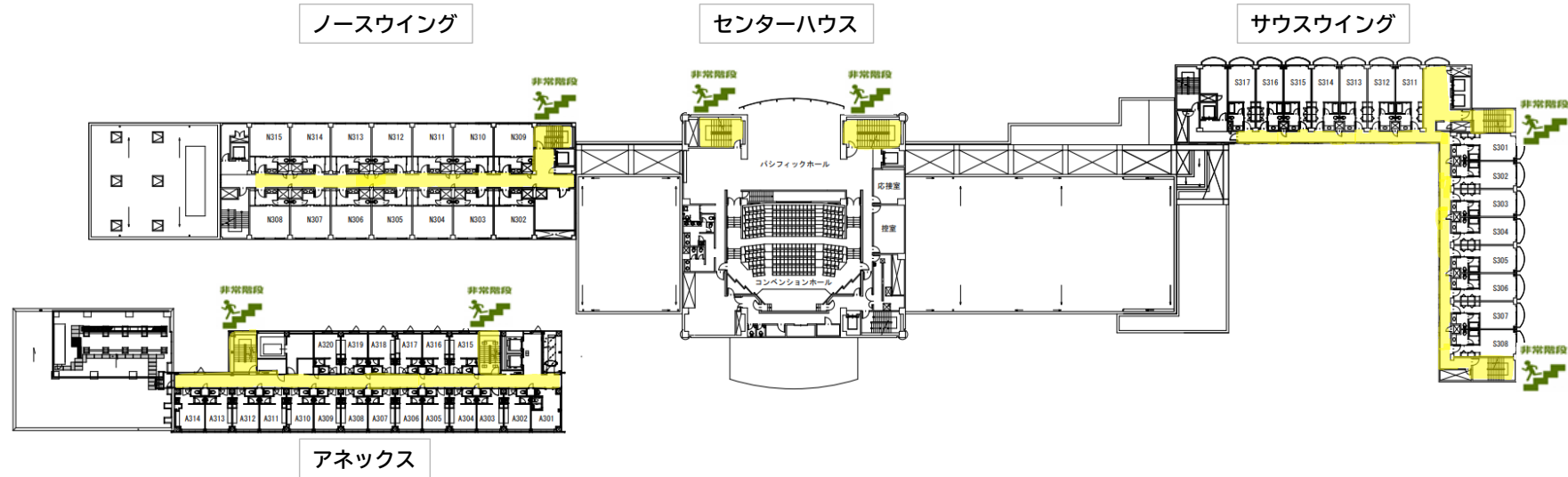
1階



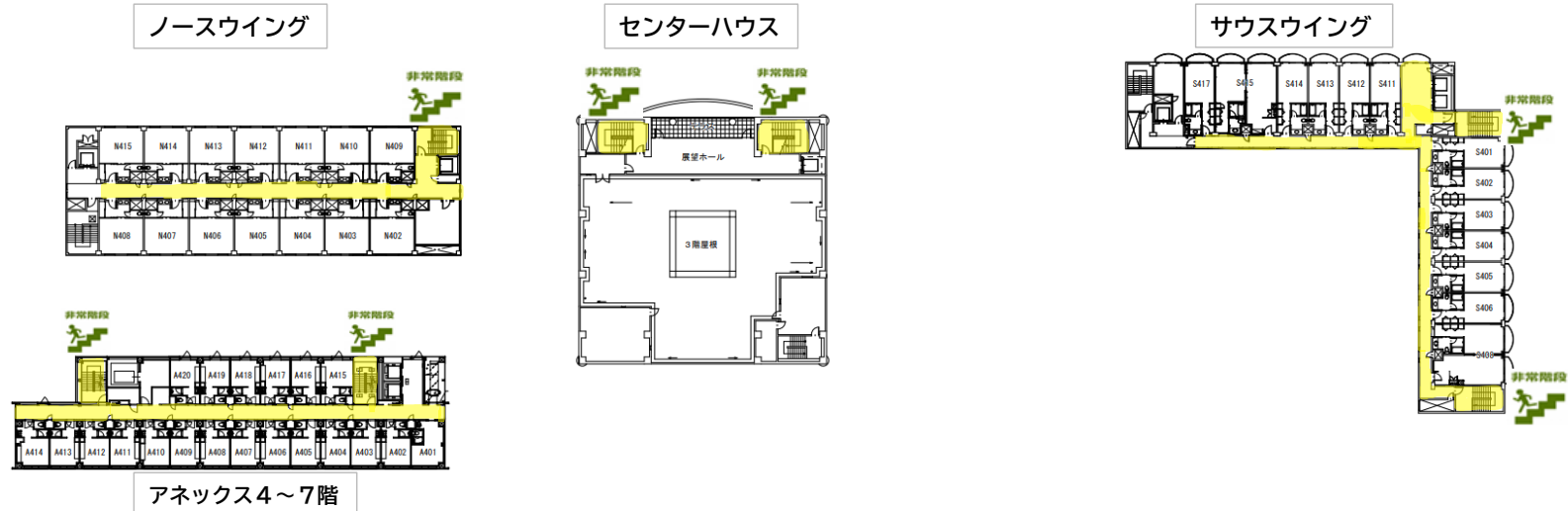
2階



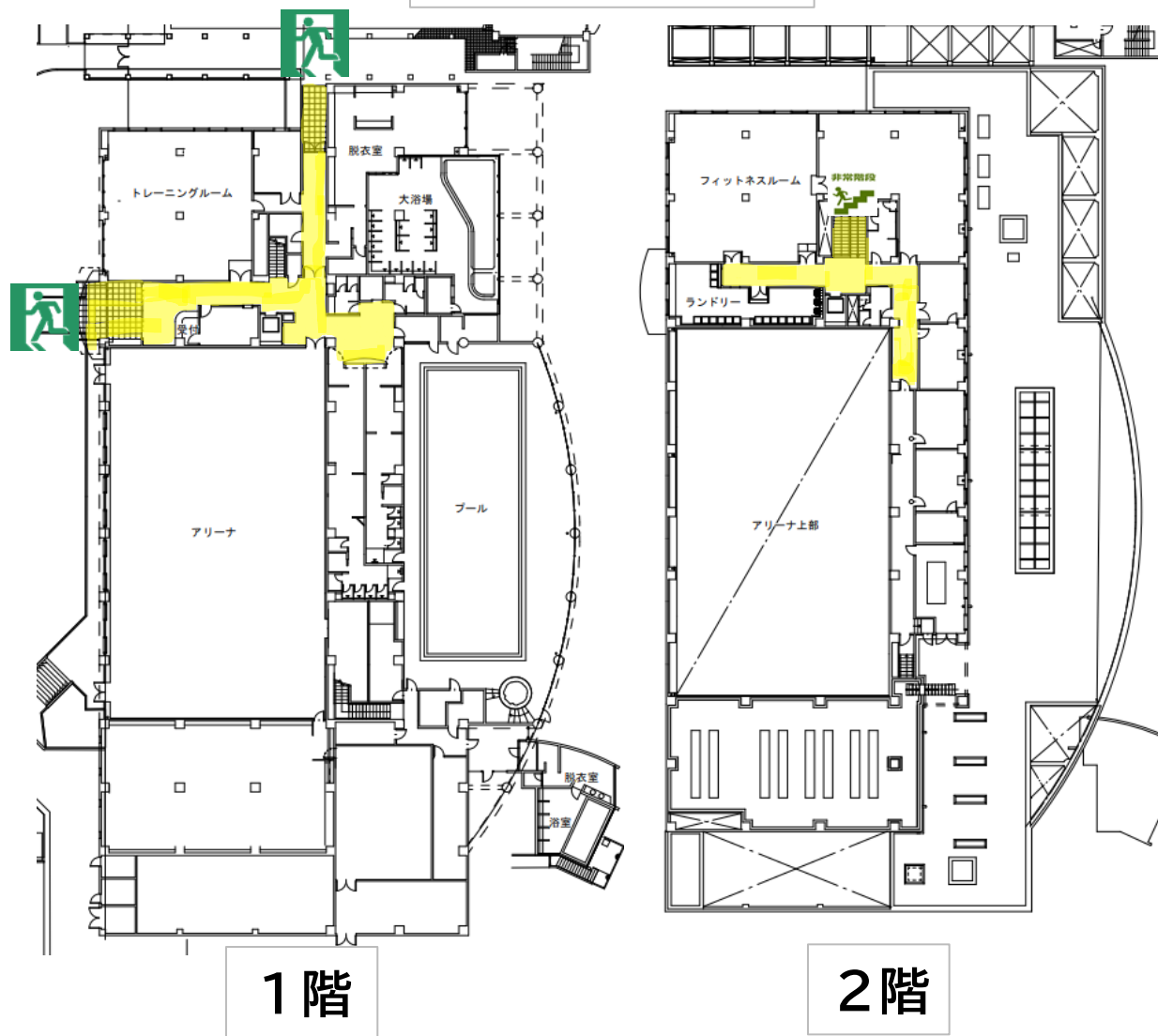
3階

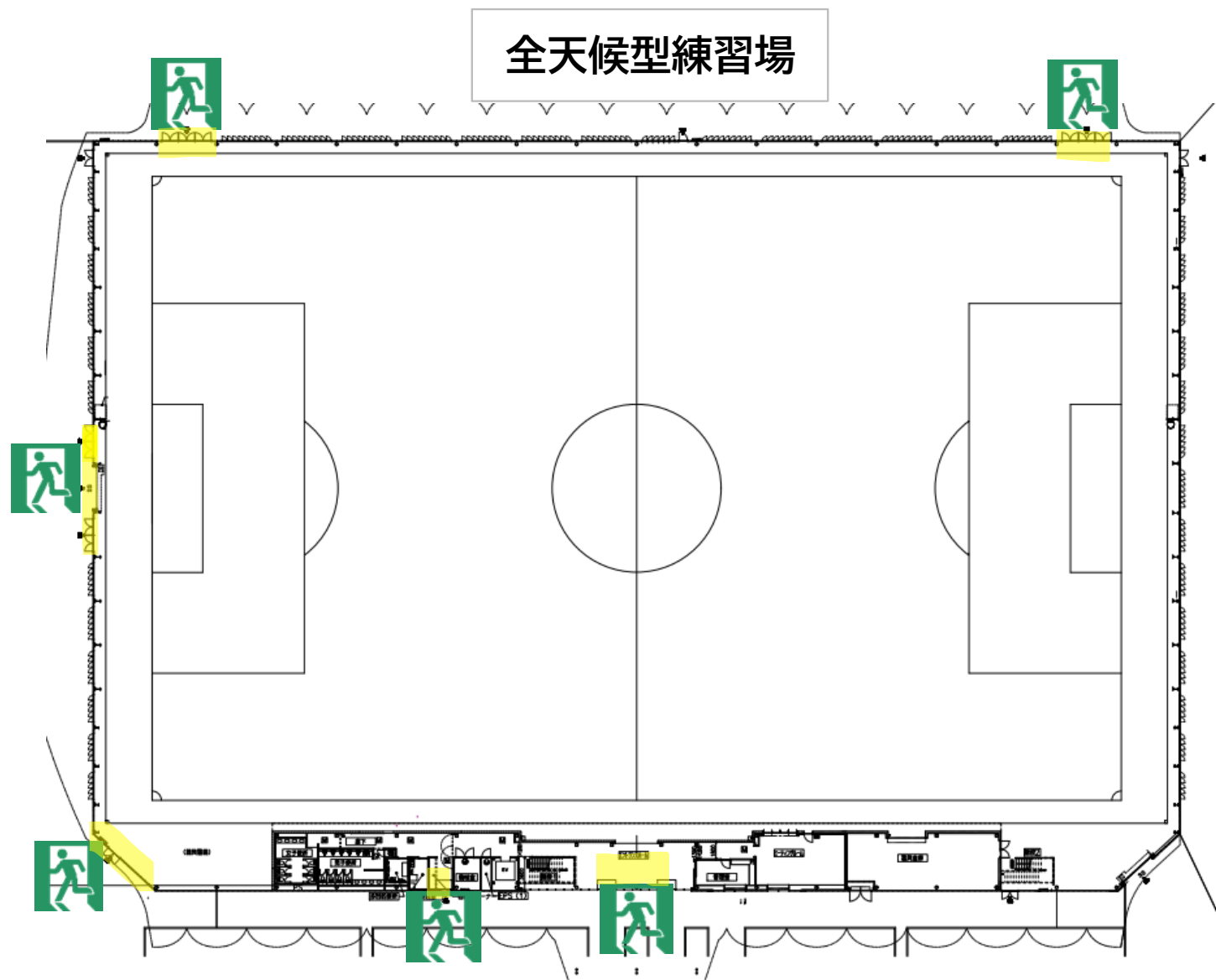


4階



フィットネスハウス





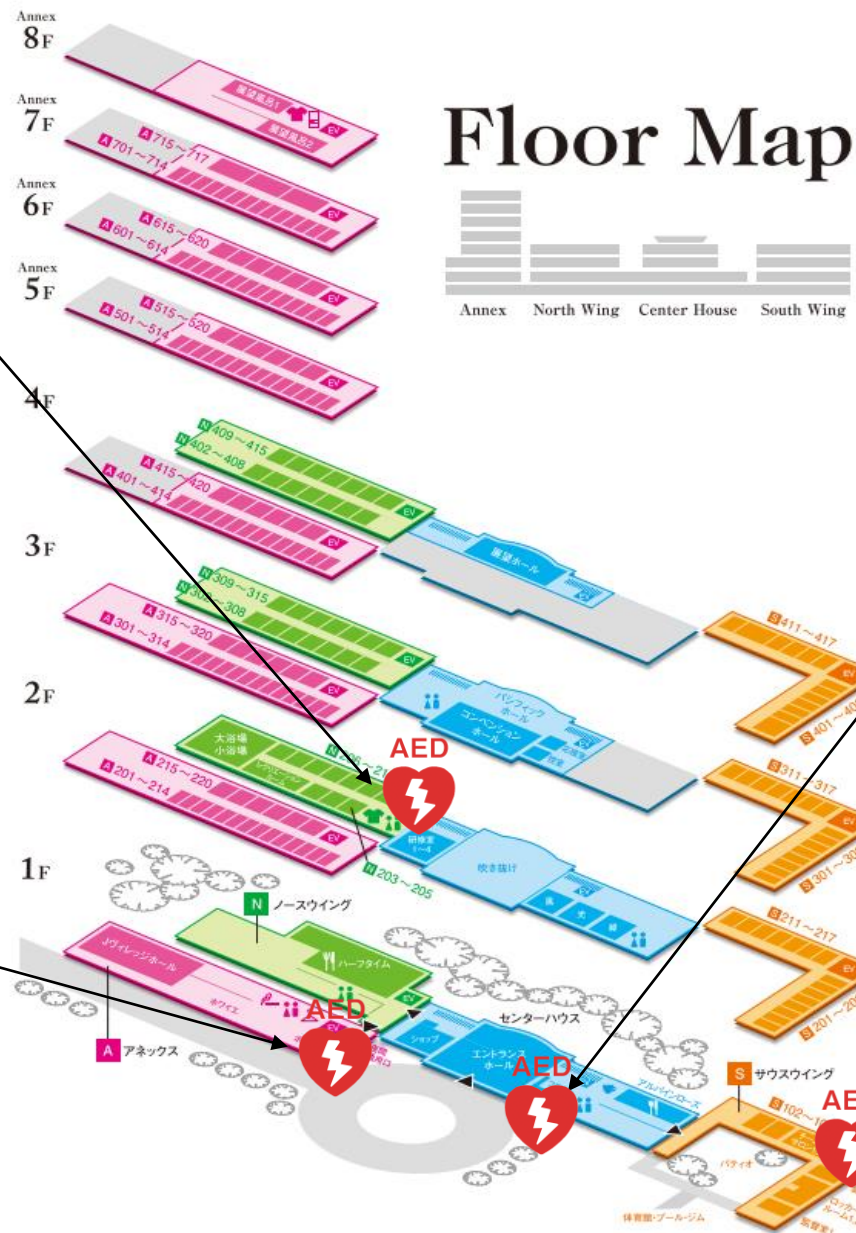
AED設置場所



ノースウイング2階 EVホール



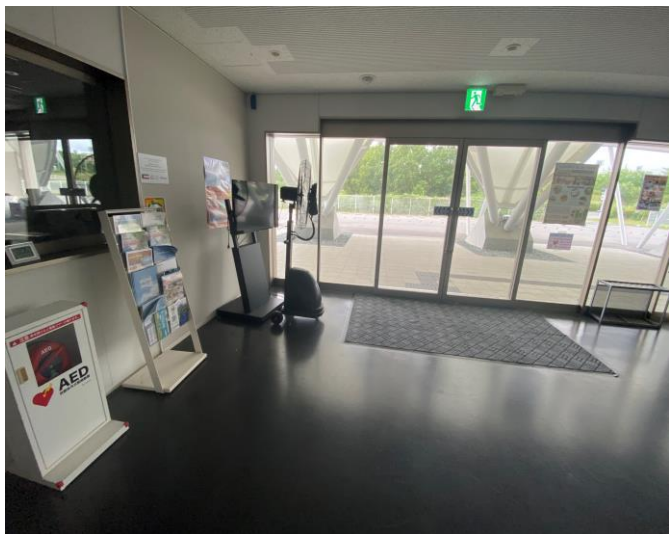
アネックス1階 ロビー



センターハウス1階 フロント



サウスウイング1階 EVホール



全天候型練習場 入口

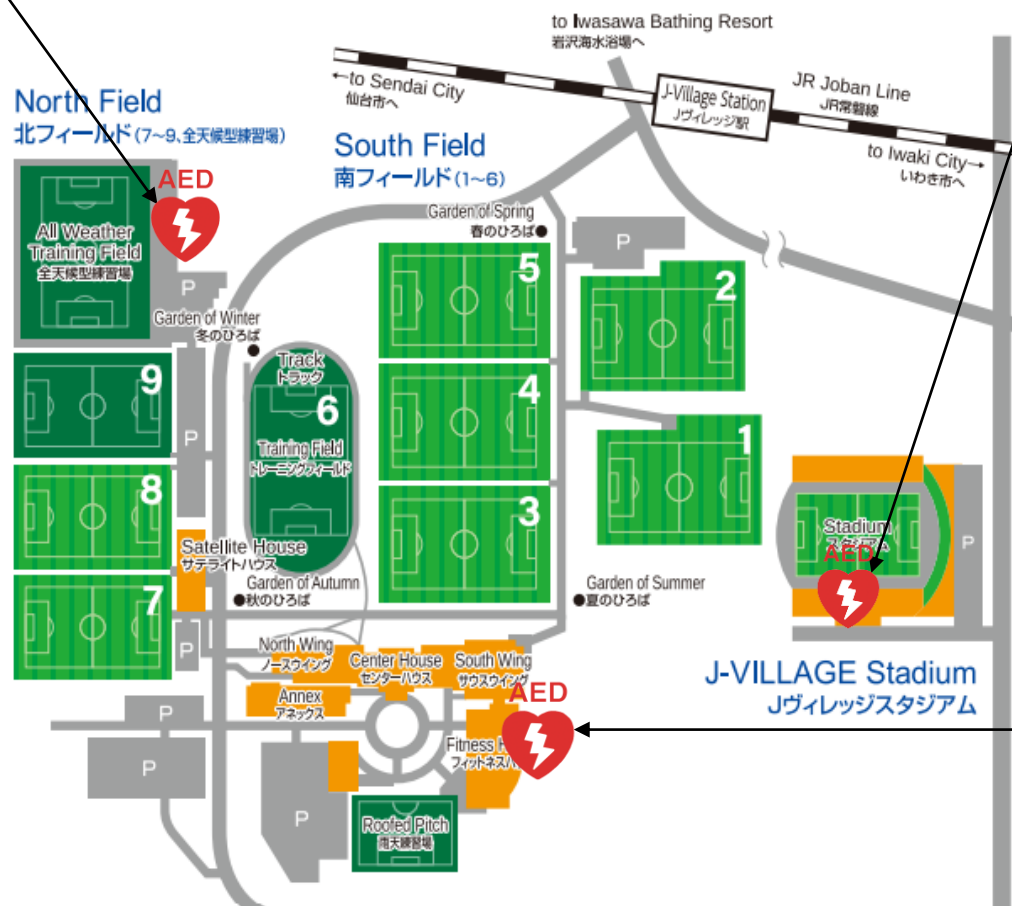


Jヴィレッジスタジアム 正面入口



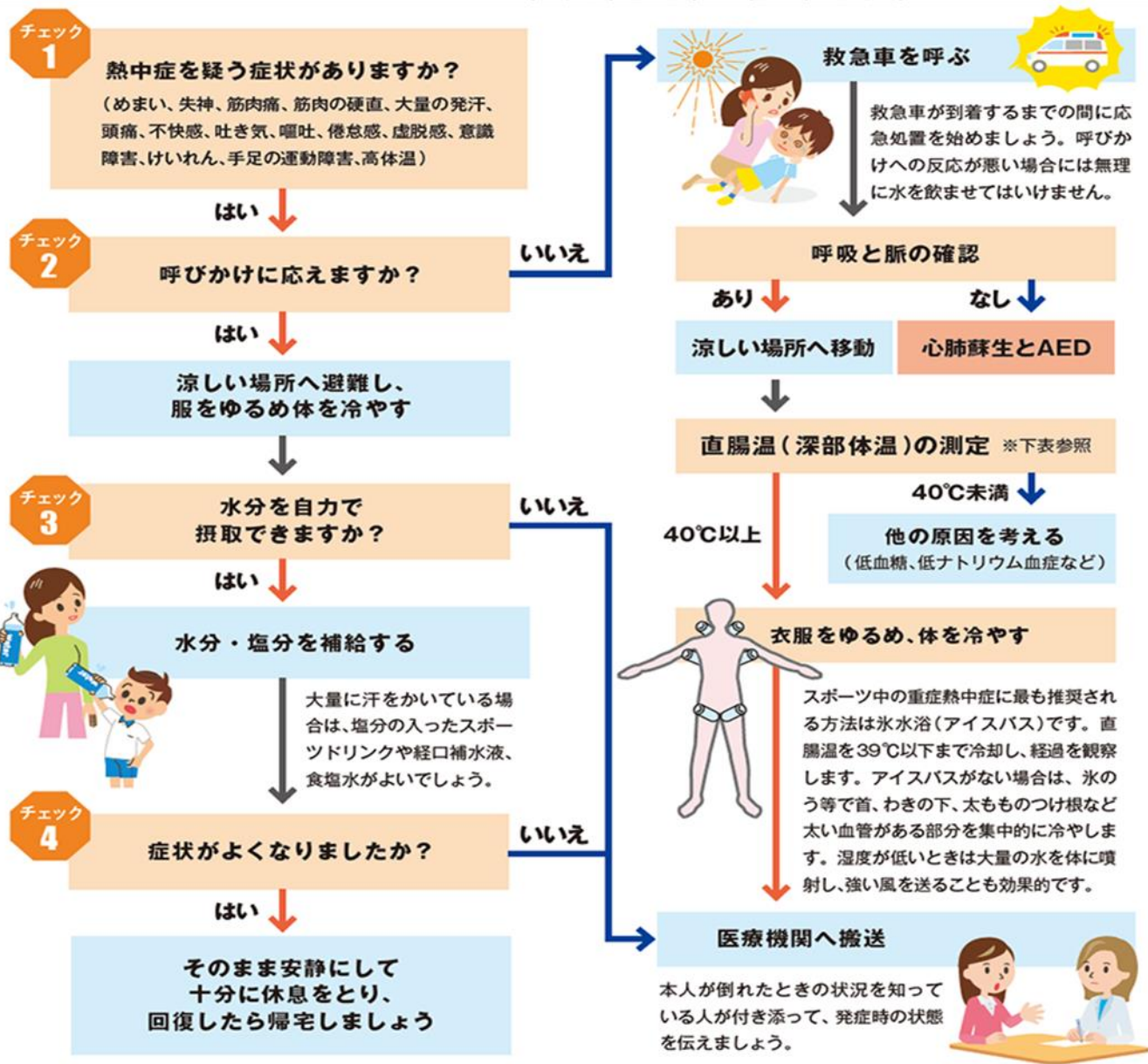
フィットネスハウス1階 受付

Field Map



AED 使い方





熱中症予防運動指針

| WBGT ℃ | 湿球温度 ℃ | 乾球温度 ℃ | 運動は原則中止 | 特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべき。 |
|-----------|-----------|-----------|--------------------|--|
| 31 | 27 | 35 | 厳重警戒 (激しい運動は中止) | 熱中症の危険性が高いため、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10～20分おきに休憩をとり水分・塩分を補給する。暑さに弱い人※は運動を軽減または中止。 |
| 28 | 24 | 31 | 警戒 (積極的に休憩) | 熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。 |
| 25 | 21 | 28 | 注意 (積極的に水分補給) | 熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。 |
| 21 | 18 | 24 | ほぼ安全 (適宜水分補給) | 通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。 |

- 1) 環境条件の評価にはWBGT(暑さ指数とも言われる)の使用が望ましい。
- 2) 乾球温度(気温)を用いる場合には、湿度に注意する。
湿度が高ければ、1ランク厳しい環境条件の運動指針を適用する。
- 3) 熱中症の発症のリスクは個人差が大きく、運動強度も大きく関係する。
運動指針は平均的な目安であり、スポーツ現場では個人差や競技特性に配慮する。

※暑さに弱い人: 体力の低い人、肥満の人や暑さに慣れていない人など。